営　農　情　報

令和８年３月

遮光資材を活用してハウス内の高温から農作物と作業者を守りましょう

近年の気象変動、特に夏場の異常高温による生育不良が、さまざまな作物で発生しています。施設野菜では、ハウス内の温度が作物の生育限界である35℃を超えると、収量低下や生育不良を引き起こすリスクが高まります。

また、作業者にとっても熱中症発生リスクが高まるなど、労働環境が悪化することが問題となっています。

夏の異常高温から農産物や作業者を守る高温対策資材を紹介します。

◎ファインシェード / ファインシェードスカイ

- ●持続効果は標準（約3カ月）・短期（約1カ月）・長期（約6カ月）の3タイプ
- ●遮光率は 20 ～ 30%（全タイプとも）
- ●水で8倍に希釈し、背負い動噴・ドローンなどで吹き付けるだけ
- ●ドローン散布専用「ファインシェードスカイ」なら希釈せず使用可能

◎吹き付けるだけ！ドローン散布でさらに省力化！

ハウス被覆資材用遮光剤

ファインシェード

1. ハウス内の温度上昇を抑制
2. 温度管理作業を軽減
3. 作物焼けを低減

実証事例

栽培品目：トマト
散　布　日：令和7年7月２３日（水）
散　布　剤：ファインシェード短期タイプ（効果持続：約1カ月）
散布方法：ドローンによる空中散布

実証結果

◎過去3年平均と比べ、収量・品質とも向上！（右表 参考）
◎ハウス内の温度上昇の抑制により、無理なく作業できる環境に！
◎ドローンの活用により、散布むらなく、省力化、作業時間短縮！
◎効果持続期間を考慮したタイプの選択が重要！

表）実証ハウスでの出荷実績（R4-R6 資材処理なし）

トマト	R7 出荷実績	R4-R6 平均
収量	102,290 kg (112 %)	91,654 kg
A 品率	23.3 % (+3.8 %)	19.5 %
LM 率	66.8 % (+3.8 %)	62.9 %

お問い合わせ　ＪＡ全農いわて　営農技術課　☎ 019-638-6982
ＪＡ営農振興課　☎ 0191-34-4001

営　農　情　報

生産資材ひろば

ごま葉枯病に注意！！

ごま葉枯病は秋落ちしやすい圃場や、生育後期の栄養不足になった稲やワキ(ガス)の多い圃場で発生しやすくなります。

ごま葉枯病は稲の生育を阻害し、被害が大きくなると収量低下の原因になります。対策にはマンガン、鉄、ケイ酸等を含んだ土壌改良資材による土づくりが有効です。このような場合は土壌改良資材「みつパワー」の施肥を推奨します。マンガン、鉄、ケイ酸が含まれていて、ごま葉枯病対策に有効です。

みつパワーの成分

保証成分(%)	含有成分分析例 (%)			
く溶性マンガン	可溶性ケイ酸	く溶性苦土	全カルシウム	鉄
10	25.1	2.7	21.7	1.7

みつパワーの施肥量（10㌃あたり）

春または秋にまく場合	60～120㌔（3～6袋）
夏に追肥する場合	40～ 60㌔（2～3袋）

※みつパワーはアルカリ性肥料ですので、硫安や過石等酸性肥料との直接混合は避けてください。

資材店舗休日営業時間について

休日（土曜日、日曜日）の営業時間を4月から5月まで下記の通りとします。

○対象店舗

一関地域資材センター　　花泉営農経済センター

千厩営農経済センター　　大東営農経済センター

○営業時間

午前8時30分～正午まで（祝日は休業）

※4月、5月の大型連休の営業時間については、4月号で改めてお知らせします。ご理解、ご協力をお願いいたします。